

〈読谷村平和メッセージ〉

せんそうはこわいよ

喜名小学校 てるや さき

ことしのへいわの学しゅうで、わたしは、せんそうのこわさをはじめて知りました。今までは、せんそうのことを考えたことはありませんでした。

今は、たべものや車もあってへいわだけど、せんそうのときは、たくさんの人が、ちをながしたり、たくさんへいたいさんが人をころしたりしたそうです。

わたしのひいおじいちゃんは、せんそうであたれて、なくなつたそうです。そのご、ひいおばあちゃんは、小さな子ども二人をそだてるのに、大へんくろうしたそうです。また、せんそう中は、やんばるの山ににげて、そこで、はたけをたがやしていてもをつくり、それをたべて、生きのびたそうです。

せんそうは、こわいです。そのせんそうをなくすには、国と国がたたかうのではなく、話し合いで、もんだいをかいつつしなければならぬと思います。

今、小学生のわたしたちにもできることがあります。それは、思いやりの心をもって、友だちやまわりの人たちに、やさしくすることです。

また、かんしゃして、たべものやのみものをいただくことです。ものを大切にしたり、むだづかいをしないことも、わたしたちが、すぐできることです。

せかい中のへいわがつづくようにしていきたいです。